

令和5年度 長野県岩村田高等学校の教育方針と目標に対する評価 40岩村田

教育方針											
1 心身の調和のとれた健全な人間の育成											
2 協調性に富み、道理をわきまえ、円満な団体生活を営み得る人間の育成											
3 現代文化に貢献し得る基礎的学力を具備した人間の育成											
4 質実剛健にして勤労を愛好する人間の育成											
5 自主的・意欲的で創造性の豊かな人間の育成											
中期的長期的目標					今年度重点目標						
1 修養（岩高のこころ）を大切にし、変化の激しい社会を生き抜く力を育成する。					1 G型（岩高）探究の活動において、生徒一人ひとりが対話力を磨き、他者との繋がりを意識した学びを醸成する。						
2 本校に寄せる地域の思いを積極的に受け止め、開かれた学校づくりを進める。					2 生徒自らが主体的に学びに向かう姿勢を育てる。						
3 新学習指導要領の導入により、より充実、工夫されたカリキュラム編成を研究し、実施する。					3 教職員全員が人権感覚を持ち、いじめや体罰のない安心・安全な学校環境を整える。						
					4 保護者の思いを共感的に受け止め、共に育てる姿勢で日々の教育活動にのぞむ。						
					5 岩高の良さを積極的に発信し、地域との連携を大切にする。						
領域	分野	今年度重点目標			具体的活動目標			A	B	C	まとめと今後の課題
教育課程・学習指導・進路指導・特別活動	教育課程・学習指導・進路指導・特別活動	(今年度1) G型（岩高）探究の活動において、生徒一人ひとりが対話力を磨き、他者との繋がりを意識した学びを醸成する。 (今年度2) 生徒自らが主体的に学びに向かう姿勢を育てる。			教育課程委員会 令和4年度入学生からの新教育課程の編成と観点別評価について課題を明確にし、カリキュラム編成と観点別評価を更に研究し、適切に実施できるようにする。			7	11	2	令和6年度3学年授業編成については生徒の希望調査結果や時間割編成の都合上、当初の帯表を若干変更した。令和7年度3学年への「総合的な探究の時間」1単位的位置付けについては今後も継続して検討していく。観点別評価についても現在の評価方法を再検討していく必要がある。
					探究係 1、2年生対象の「探究の時間」では、テキスト・ワークシートを用いた学習、個人・グループでの探究活動を行い、年度末には成果発表会を行う。学級を超えた活動を通じて、論理的・分析的思考とコミュニケーション能力を養う。3年生対象の「探究plus」では、探究活動での経験を進路活動に生かすことができるようにサポートする。また、単なる調べ学習で終わらせないために、地域のさまざまな機関と連携をしながら探究活動の深化を促す。			7	9	3	昨年度同様1、2年の授業を別に行った。その結果、各学年で身につけさせたい力を意識した活動を行うことができた。体育館にて成果発表会を行い、1年間の探究活動の成果を生徒が発表することができた。3年生に対する「探究plus」については学年・進路に任せる形になってしまった。入試形態が多様化している中、探究と進路を有機的に結び付ける方策を検討していく必要がある。
					進路係 生徒たちに確かな学力を身につけさせ、あらゆる機会を捉えて大学進学を中心とする各自の進路希望の実現に向け尽力する			14	6	0	進学を中心とした進路指導という基本的な方針は当面（学区内の他校の再編の行われる前までは）変わることなく続けていくべきものであり、一定の結果は出ていると捉えているが、入試方式の多様化、特に年内入試と言われる総合型、学校推薦型の拡大に伴う早期進路決定者と一般入試受験者がほぼ半々の中、入試直前期の指導のあり方には課題があり、工夫していく必要がある。
					教務係 タブレット端末などのICT機器、WiFi環境の適切な配置と利用を進め、生徒が主体的に学習活動を進められる環境を整える。			15	5	0	Wi-Fi環境が校舎内全域に配備されたことで、どの場においてもICT機器（iPad等）を用いた授業を行うことができた。またClassroomを用いた教科指導の線度は高く、ほぼ全教員が配信を初めとした一定以上の指導を行うことができる状況である。今後は、より効果的な教科指導が可能ICT教材を研究し、全教員で活用していくことが必要である。
					生徒会係 自らの考えを仲間と共有しながら生徒会に関わる諸活動を主体的に実践し、課題解決能力を養うことができるように指導する。創立100周年を迎えるにあたり、地域とのつながりを大切にしながら新たな活動を模索していく。			11	6	0	生徒たちが活発な生徒会活動を目指したことで、例年になく新たな取り組みが多く生まれたが、その実現に向けた手順や他者への配慮については継続した指導が必要である。今後も学校全体を巻き込んだ、より良い活動ができるよう、支援していく。また、同窓会係と連携して、100周年関係の検討も進めることができた。
					1学年 探究の授業を通して自己の理解に努め、自分と社会のつながりを考える中で、探究すべき課題を見つけ、自ら学ぼうとする学習姿勢を身につけていけるよう指導する。			6	8	0	探究の授業の前半では、外部業者のテキストを使用して、気づき力、発案する力、表現する力等の基本を育成し、自己の理解にも繋げた。後半では、自らの進路を意識しつつグループで話し合い、探究活動の基本を学んだ。
					2学年 あらゆる場面の活動に対して主体的に取り組み、経験や視野を広げ個々の学びを深めることで、自ら学び向上しようとする姿勢を身につけていけるよう指導する。			9	5	0	自らの進路を意識して、主体的に学習に取り組む姿勢が見られ始めてきた探究活動では、学校外での体験や調査を行ったグループもあり、自主的な学びを深めることができた。進級後もさらに自らの進路に向け、自発的な取り組みを期待したい。
					3学年 生徒一人一人に、自分の将来像を考えさせつつ、具体的な進路や進学先について自主的に学んでいきそれを元に更に個人面談等を通してより深く将来について考えさせる。多くの情報を効率よく取得し有効に利用していく。こまめな面談により進路希望の明確化とその実現につなげて行く。			13	4	0	面談を繰り返しおこない、将来設計を含めた進路希望について話し合った。その時期ごとに必要な情報をクラスルームを通して周知した。結果として一人一人が進路に向けて真剣に考えるようになった。自分の進路について納得の上で次のステップに向けて歩み出す生徒が数多くいる。
					生徒指導係 生徒相談係や各担任等と連携を取りながら、いじめ等の早期発見に努める。情報モラル等の適切な指導については講演会を行ったり通信を発行したりして啓発に努める。			10	7	0	事案発生時は多くの先生方と連携して対応することができたが、より迅速な対応ができるようにしたい。メディアリテラシー教育講演会の講師が、ここ数年同じ派遣元からの講師になってしまっている中で、来年度は別の派遣元から講師を選定したい。今年度いじめの事案はまだ発生していない。
					生徒相談委員会 生徒が気軽に利用できる相談室の運営を行い、カウンセラーの相談へと繋げていく。また、外部機関の案内も充実させる。毎週委員会を開催し、様々な相談に対応できるように努めると共に、「いじめ・悩みアンケート」や「アセスアンケート」を行い、生徒一人ひとりに目を向けていく。			14	3	0	委員会では生徒一人ひとりに目を向けることができ、学年の様子も把握でき、有意義なものであった。カウンセリングやSSWは生徒の状況を見て、動めることができた。心身の不調を訴える生徒が増えており、必要に応じて支援会議や教科担当者会を行い、外部機関を含めた会議も検討していきたい。
生徒指導		(今年度3) 教職員全員が人権感覚を持ち、いじめや体罰のない安心・安全な学校環境を整える。									

	保護者連携	(今年度4) 保護者の思いを共感的に受け止め、共に育てる姿勢で日々の教育活動にのぞむ。	P T A 感染症の推移も確認しつつ、P T A の連携を深め、より多くの保護者の方が参加しやすい P T A を目指す。また P T A 行事等への積極的な参加を呼びかけ、活動を通し学校の教育活動や生徒の成長に寄与できる取り組みにつなげる。	9	7	0	感染症の推移をみつづPTA総会（学年PTA、学級PTA）の対面実施を実施することができた。コロナ前と比較しても多くの保護者に総会に参加いただけた。岩高祭時のPTAバザーも多くの方々に協力頂き、大変充実した取り組みとすることができた。
			1 学年 日頃の生徒の様子や生徒の変化の連絡を密にとっていくなど、保護者が安心して生活できる学校を保証する。また、三者面談などで卒業後の進路希望や学校生活の悩みなどを共有し共通理解を深める。	11	3	0	日頃の生徒の様子や生徒の変化については、オクレンジャー等で保護者から、学年会等で正副担任からの連絡をいただいた直後に双方向で密な連絡を取っている。また、二者面談の他に三者面談を2回行い、卒業後の進路希望を見通した来年度の選択科目決定や学校生活の悩みなどを共有した。
			2 学年 保護者向け講演会や懇談会、学年通信など幾多の機会を通して生徒一人一人の社会的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育てるための必要な連携をしていく。	12	4	0	生徒との定期的な面談、年2回の保護者懇談、保護者向け進路講演会等を通じて進路希望や学校生活の悩みなどを共有してきた。学年通信を通じて折々の学校の様子や行事予定、生活の指針などを発信してきた。
			3 学年 生徒との面談、又は保護者向けの講演会、学年通信通信など、更には7月と12月の保護者懇談の場を中心に、保護者と思意疎通を図り、生徒の希望進路の実現に向けお互いに協力していく。	14	1	0	保護者との連絡にはオクレンジャーを使用し、紙（プリント）による連絡は極力少くした。連絡事項は生徒経由の紙媒体による連絡よりも確実に保護者の元に届いた。結果として、連絡の不徹底による不信感を招くことなく一年間過ごすことができた。
	学校運営	地域連携 (今年度5) 岩高の良さを積極的に発信し、地域との連携を大切に する。	教務係 昨年度リニューアルした本校のホームページを活用し、公開授業、体験入学、入学者選抜の情報を提供するとともに、本校の日々の活動や、学校行事の様子、進学などの情報を積極的に発信する。保護者の皆様にはオクレンジャーも活用し、情報提供を行う。さらに閲覧しやすくなるように努めていく。	14	6	0	各種行事等の情報発信をタイムリーに行うことができた。オクレンジャー等も活用し、情報提供に努めた。ホームページは今後も閲覧しやすくなるように改善していきたい。

令和6年度 長野県岩村田高等学校の教育方針と目標に対する評価 40 岩村田

教育方針		
1	心身の調和のとれた健全な人間の育成	
2	協調性に富み、道理をわきまえ、円満な団体生活を営み得る人間の育成	
3	現代文化に貢献し得る基礎的学力を具備した人間の育成	
4	質実剛健にして勤労を愛好する人間の育成	
5	自主的・意欲的で創造性の豊かな人間の育成	
中期的長期的目標		今年度重点目標
1	修量（岩高のこころ）を大切にし、変化の激しい社会を生き抜く力を育成する。	1 探究的な学習活動において、生徒一人ひとりが対話力を磨き、他者との繋がりを意識した学びを醸成する。
2	本校に寄せる地域の思いを積極的に受け止め、開かれた学校づくりを進める。	2 生徒自らが主体的に学びに向かう姿勢を育てる。
3	新学習指導要領の導入により、より充実、工夫されたカリキュラム編成を研究し、実施する。	3 教職員全員が人権感覚を持ち、いじめや体罰のない安心・安全な学校環境を整える。
		4 保護者の思いを共感的に受け止め、共に育てる姿勢で日々の教育活動にのぞむ。
		5 岩高の良さを積極的に発信し、地域との連携を大切にする。
領域	分野	今年度重点目標
教育活動	教育課程・学習指導・進路指導・特別活動	教育課程委員会 令和4年度入学生から実施している教育課程について課題を明確にし、本校の実情に即した形に改善することを目指す。また、カリキュラム編成と観点別評価を更に研究し、適切に実施できるようにする。 探究係 1、2年生対象の「探究の時間」では、テキスト・ワークシートを用いた学習、個人・グループでの探究活動を行い、年度末には成果発表会を行う。学級を超えた活動を通じて、論理的・分析的思考とコミュニケーション能力を養う。また、単なる調べ学習で終わらせないために、地域のさまざまな機関と連携をしながら探究活動の深化を促す。 進路係 生徒たちに確かな学力を身につけさせ、あらゆる機会を捉えて大学進学を中心とする各自の進路希望の実現に向け尽力する 教務係 タブレット端末などのICT機器、WiFi環境の適切な配置と利用を進め、生徒が主体的に学習活動を進められる環境を整える。また、ICT機器を有効に活用していけるよう、研鑽を積む。 生徒会係 自らの考えを仲間と共有しながら生徒会に関わる諸活動を主体的に実践し、課題解決能力を養うことができるように指導する。創立100周年を迎えるにあたり、地域とのつながりを大切にした新たな活動を模索していく。 1学年 探究の授業を通して自己の理解に努め、自分と社会のつながりを考える中で、探究すべき課題を見つけ、自ら学ぼうとする学習姿勢を身につけていけるよう指導する。 2学年 あらゆる場面の活動に対して主体的に取り組み、経験や視野を広げ個々の学びを深めることで、自ら学び向上しようとする姿勢を身につけていけるよう指導する。 3学年 これまで行ってきた自己分析と社会理解をより具体的な将来にむすびつけ、今取り組むべきことを考えさせ、着実に実行できるよう指導する。多くの情報を効率よく取得し有効に利用していく。こまめな面談により進路希望の明確化とその実現につなげて行く。
	生徒指導	生徒指導係 生徒相談係や各担任等と連携を取りながら、いじめ等の早期発見に努める。情報モラル等の適切な指導については講演会を行ったり通信を発行したりして啓発に努める。 生徒相談委員会 生徒が気軽に利用できる相談室の運営を行い、カウンセラーの相談へと繋げていく。また、外部機関の案内もさらに充実させる。毎週委員会を開催し、様々な相談に素早く対応できるように努めるとともに、「いじめ・悩みアンケート」や「アセスアンケート」等を行い、生徒一人ひとりの悩み・困り感に目を向けていく。
	保護者連携	P T A P T A の連携を深め、より多くの保護者の方が参加交流しやすいP T Aを目指す。またP T A行事等への積極的な参加を呼びかけ、活動を通し学校の教育活動や生徒の成長に寄与できる取り組みにつなげる。 1学年 日頃の生徒の様子や生徒の変化の連絡を密にとっていくなど、保護者が安心して生活できる学校を保証する。また、三者面談などで卒業後の進路希望や学校生活の悩みなどを共有し共通理解を深める。 2学年 保護者向け講演会や懇談会、学年通信など幾多の機会を通して生徒一人一人の社会的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育てるための必要な連携をしていく。 3学年 生徒との面談、又は保護者向けの講演会、学年通信通信など、更には7月と12月の保護者懇談の場を中心に、保護者と意思疎通を図り、生徒の希望進路の実現に向けお互いに協力していく。
学校運営	地域連携	（今年度5） 岩高の良さを積極的に発信し、地域との連携を大切にする。 教務 100周年を迎えるにあたり、保護者や地域との連携をより深められるよう、ホームページ等を活用し、本校の日々の活動や学校行事の様子、進学などの情報を積極的に発信する。また、オクレンジャーも活用しながら、情報提供を行う。